

ぼう けん なぞ と
冒険・謎解きブック

さく ち しょう
鞠智城を
探ろう!



第4号

鞠智城の城門跡・
土塁跡を調べよう。

今から1300年も前に造られた鞠智城。
城門に土塁、朝鮮半島を通して伝わった
大陸の技術で守られた鞠智城の謎を
探ってみましょう！



鞠智城は1300年前のハイテク

城の守りの要。城門跡はこんなもの!

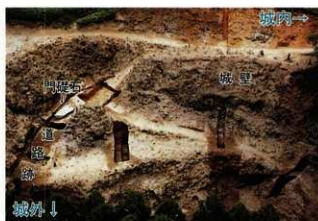


イラスト 早川和子

鞠智城の城門は、^{ふかざかもん} 深迫門、^{ほりきりもん} 堀切門、^{いけおんもん} 池ノ尾門の3カ所が見つかっています。深迫門、堀切門、池ノ尾門の3カ所とも門の作りかたが違って、それぞれ特徴があります。門の扉の軸を差し込むための礎石は、花崗岩という石でつくられていて、特に堀切門の礎石は、一つの石に2つの軸摺穴が設けられており、門の幅がわかる貴重なものです。また、堀切門では、城外からの登城道と思われる遺構も確認されました。

上のイラストは、池ノ尾門跡です。池ノ尾門跡では他の門と異なり、石を積み上げた石壘がつくられていたことが分かっています。この石壘の下には城内からの水を排水するための溝が通っています。

この池ノ尾門を出て現在の道路を進んでいくと、地元で「^{だいもん} 大門」と呼ばれているところにとどります。ここは^{きくちがわ} 菊池川をつたい^{あけみ} 有明海まで流れる^{はつたがわ} 初田川沿いにあたり、昔の道路である^{くるまじ} 車路にも隣接するところにあたります。そのため、池ノ尾門が鞠智城の正門であったという考えもあります。



堀切門跡全景

堀切門跡は城域の南側にあります。門の礎石の他、道路跡や岩盤削り出しと盛土で形成された城壁等が見つかっています。門の礎石は、1つの石に門を差し込むための穴が2つ付けられている大変珍しいものです。



深迫門跡全景

深迫門跡は城域の南東にあります。地元で昔から「長者どんの石的」と呼ばれてきた門の礎石の他、版築土壘や柱穴、石列などが見つかっています。版築土壘は高さが4m以上もあり、裾の部分には土が流れないようにするための石が並べられていました。

ク土木技術で守られていた!

大陸伝来の先進技術でつくられた土塁。



土塁は、外部からの敵の侵入を防ぐもので、もともと防御力の高い自然尾根を利用し、さらに土を盛るなどしてつくられています。土塁には、イラストのように土を太い棒のようなもので突いてたたいて固めることを何度も繰り返すことで強固な壁をつくる「版築」という大陸伝来の技法が使われています。これは当時の最先端の技術です。

このような版築でつくられた土塁は、鞠智城の西側と南側で確認されています。西側の土塁は痩せ尾根地形が続いているその途中には、灰塚、涼みヶ御所、佐官どんといった頂が連なる起伏に富んだ地形があります。この尾根の上部に土塁がつくられていますが、南側の土塁と違って西側の土塁は2段にならず、イラストのように垂直の壁のようにつくられています。

これに対し、南側の土塁は、もともと崖のようになっていて高い防御性を持っている場所に、さらに版築で土塁をつくって防御力を高めています。イラストのようにまっすぐな壁ではなく、ゆるやかで2段になるような土塁です。

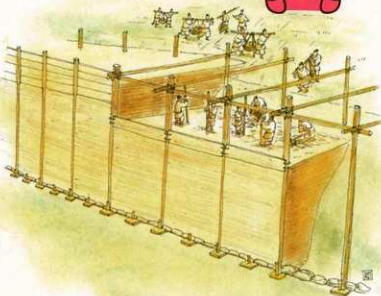


イラスト 早川和子



西側土塁線の版築

土塁は版築という技法でつくられています。版築とは土と粘土を交互に積んで突き固めることを何度も繰り返すことで、壊れにくい土塁をつくる方法です。



南側土塁線

左側が城の外です。城の外に向かって、2段になっている土塁が版築によってつくられています。

3つの城門跡と2つの土塁跡が見つかっています。



鞠智城の土塁線と城門跡の位置

強固な守り！ 鞠智城は難攻不落！！

鞠智城は城の中心部に^{へいしよ こめくら}兵舎や米倉などの建物や貯水池がつけられていますが、その周囲をぐるっと囲むように、土塁という土を盛り上げてつくった城壁で囲まれています。

土塁は敵が城の中に侵入するのを防ぐためにつくられるものですが、鞠智城の場合、もともと土塁で囲まれたような地形になっており、非常に防御力の高い地形でした。そこに、「版築」という大陸伝来の技術で強固な壁をつくっています。このような版築工法によってつくられた土塁は、鞠智城だけでなく他の古代山城でも見つかっています。

この土塁のうち3カ所には、城に出入りするための門がつけられていました。これらの門は普段は城に物資を運び込んだり、人が行き来するために使われていましたが、敵が攻めてきたときは閉じられ守りを固められたと思われます。なお、城門は鞠智城の北側にも1カ所存在したと考えられています。しかし、この場所は調査が行われていないので、実際に門が存在していたかどうかはこれから確認する必要があります。

土塁と城門は城を守るために一番重要なものです。そのため、鞠智城が築城される際には真っ先に整備されました。

この電子書籍は、冒険・謎解きブック鞠智城を探ろう！4 を底本として作成しました。閲覧を目的としていますので、精確な図版などが必要な場合には底本から引用してください。

底本は、古代山城がある市町村教育委員会、熊本県内の市町村教育委員会と図書館、都道府県の教育委員会、考古学を教える大学、国立国会図書館などにあります。所蔵状況や利用方法は、直接、各施設にお問い合わせください。

書名：冒険・謎解きブック鞠智城を探ろう！4 鞠智城の城門跡・土塁跡を調べよう
発行：熊本県教育委員会

〒862-8609 熊本市中央区水前寺 6 丁目 18 番 1 号

電話：096-383-1111

URL：<http://www.pref.kumamoto.jp/>

電子書籍制作日：西暦 2002 年 8 月 18 日